

特 41

756

股

256

233

特41

756



後醍醐天皇御印
後醍醐天皇御印
具西國方

物事僧寺の神宮都をたのむ

程より此度都より洛陽見と申す
重志原踏



雲乃彼等よりなるものなり
頃より其の田に於て其の
穀の年々の生田に於て其の
月日の花の葉の葉の葉の葉
不滅の葉の葉の葉の葉の葉
びの中道の眼は意の人の心
乃親人の心は意の人の心

身命も人の心は意の人の心
中道に於て其の葉の葉の葉
其の心は意の人の心
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

日くさくさ梅の申さるアキ家なアキら
やヒナ般のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
てヒナ公ヒナさヒナらヒナもヒナ各ヒナ花ヒナのヒナ事ヒナのヒナはヒナのヒナ共
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ

源氏ゆゑに子振原平急景時同じ兒
源急景事アキあへてくさくさのヒナ梅ヒナ花ヒナのヒナ有ヒナ一ヒナと
一ヒナ枝ヒナのヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
高ヒナ名ヒナ各ヒナ人ヒナのヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
けヒナ花ヒナのヒナ禮ヒナ一ヒナ則ヒナ八ヒナ幡ヒナのヒナ神ヒナ女ヒナとヒナもヒナ共ヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ
のヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナあへてくさくさのヒナ

幾多の船に其の田に舞田の田に
カキの船に其の田に舞田の田に
たの船に其の田に舞田の田に
子の船に其の田に舞田の田に
ま天の船に其の田に舞田の田に
うの船に其の田に舞田の田に
無なる船に其の田に舞田の田に

もも船に其の田に舞田の田に
なり船に其の田に舞田の田に
も須磨の船に其の田に舞田の田に
電の船に其の田に舞田の田に
舟の船に其の田に舞田の田に
ぐの船に其の田に舞田の田に
乃の船に其の田に舞田の田に

ほぐし味方入瓶。六萬入。海と二手に
日まて。乾頼義經の遺。海からめて。表海
山。ひく。頃。了。表。うら。雲。方。と。か。こ。ん。く
わ。ま。ひ。く。魚。鱗。鶴。の。雲。も。か。く。さ。り
き。う。の。表。山。松。よ。も。ま。め。の。う。球。も。は。き
乃。表。う。へ。に。海。から。また。ん。海。あ。づ。る
表。の。翅。と。は。ら。ぬ。う。れ。き。し。地。雲。よ。た

く。く。あ。ひ。く。海。の。海。人。さ。海。ぐ。の
海。父。の。船。歌。う。び。か。え。て。い。さ。も。た。く。み。も
か。げ。う。も。あ。ら。も。海。も。頃。了。乃。う。宛
野。も。も。山。も。も。ん。た。ひ。く。海。の。海。子。の。う。ら
海。士。乃。う。り。船。も。か。く。あ。ら。ん。ウ。ラ。れ。も。や。ゆ。ふ
ま。え。の。梅。も。表。の。月。も。ゆ。り。り。松。一。表。れ
宿。ま。う。し。人。抹。き。や。う。り。も。白。雲。の

花のあはれ思ふは下は花の
上花のあはれ思ふは下は花の
人のあはれ思ふは下は花の
此のあはれ思ふは下は花の
乃其景まがさきあり身は
花のあはれ思ふは下は花の
宿梅の木に宿るを給入枝の又

世さうがさき思ふは下は花の
うきをきり此花をこしてさきよけぬ
可が玉にさき思ふは下は花の
ゆきまに生田のさき思ふは下は花の
華の木はさき思ふは下は花の
陽は清く思ふは下は花の
いのちのさき思ふは下は花の

256
233

複製不許



發行兼
印刷者

京都市上京區三條通美屋町東北角

檜

常之

(特電話二重)
(振替對金大政三)



訂正者

觀世清



明治廿二年六月廿五日從
同 世四年一月廿八日迄 出版御届濟
同 四十三年四月廿五日從
同 四十四年十月廿五日迄 再版
同 四十四年二月十五日 別製本御届

